



## 向石下自治会

住民同士の活発な交流により、安心して暮らせる地域を目指して

### 向石下自治会とは？

平成23年に自治区再編により5自治会が統合され、約250世帯の会員で構成される現在の向石下自治会となりました。子どもから大人まで地域活動に積極的に参加し、地域コミュニティの活性化を進めています。

### 地域貢献活動について

毎年消防団とともに消火訓練を実施し、「自分たちの地域は自分たちで守る」という防災意識を高め合うことで、自主的な防災活動につながっています。

また、子供会主催で実施される子ども神輿祭りは、子どもたちの主体的な体験活動の場、世代を超えた交流の場となっており、地域に賑わいをもたらしています。

自治会会員からなるボランティアサークル「いきいきクラブ(男性7名、女性25名)」は、社会福祉協議会にも登録して活動する団体で、一人暮らしの方等を集めた食事会(コロナ禍に伴い、現在はお茶会を実施)を月1回開催し、会食をしながら高齢者を見守るネットワークを構築しています。さらに輪投げ大会やカラオケ大会の実施、プロ歌手、津軽三味線奏者によるコンサートの開催、薬剤師の方を講師とした薬の服用・サプリメントに関する講習会の開催等、

様々な交流の場を提供したり、住民が集う公民館の清掃、消毒を定期的に行うなど、地域のために積極的に活動を行っています。篠山地区のボランティアサークルとも交流があり、地区を超えて活動の幅を広げています。

### 目指すまちのすがた

新型コロナウイルスの影響から、顔をあわせて集まる機会が減っていることにより、住民同士の関係が希薄になっていることを懸念している自治区長の福田さんは、「収束後には、以前から企画をしているバーベキュー大会やバザーの開催等で、住民同士の交流が深められたら」と考えています。

地域ボランティア活動やイベントを通して、顔の見える関係性の構築をすすめ、安全で安心して暮らせるまちを目指していきます。

### 団体概要

団体名：向石下自治会

自治区長：福田 崇宏



プロによる津軽三味線演奏会における集合写真

◆問い合わせ = ⑧市民と共に考える課(内線2120)



## 消防団応援団員の辞令交付式を行いました

4月3日(日)、市役所議会棟で常総市消防団応援団員の辞令交付式を行い、24人が応援団員の辞令を受けました。応援団員は、消防団経験者や元消防職員で構成され、昼間の火災や大規模災害時の人手不足を補うとともに、基本団員の側面的支援を行います。



小川消防団長(右)から辞令の交付を受ける応援団員

式では、小川消防団長から応援団員に辞令が手渡されました。また、西田副市長から「地域防災の要である消防団の活動に、これまでの豊富な経験や知見を活かして災害を最小限に抑えられるようご尽力いただきたい」と挨拶がありました。

◆問い合わせ = ⑧防災危機管理課(内線2230)

常住人口のうごき(令和4年4月1日現在)※( )内は前月比  
男30,135人(+1)/女29,905人(-97)/合計60,040人(-96)  
外国籍住民5,632人(+69)/世帯数22,800世帯(+90)

